

Takara standard

大阪で共に誕生から 110 年を迎える通天閣とタカラスタンダード
通天閣の巨大スライダーにホーロー壁装材を寄贈

システムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器メーカー・タカラスタンダード株式会社（本社：大阪市城東区、代表取締役社長：渡辺岳夫）は、1912年5月30日に大阪で創業しました。そして同じ年の7月に、大阪のシンボルとして知られる初代通天閣が建設されました。今年、共に大阪の地で誕生から110年を迎えることを記念して、通天閣が開業する巨大スライダー施設に、ホーロー壁装材「エマウォール」を寄贈します。



ホーロー壁装材「エマウォール」は、これまでタカラスタンダードが水回り製品で培ってきた技術を生かしつつデザイン性を飛躍的に向上させた、清掃性・耐久性・利便性に優れた画期的な壁装材です。その優れた素材力から、近年、公共施設や駅舎、企業の社屋など、多くの人々が利用するパブリックスペースでの採用実績を伸ばしています。

そしてこの度、今年当社と一緒に大阪で誕生から110年を迎える通天閣が5月9日（月）に開業する体験型アトラクション「TOWER SLIDER（タワースライダー）」の乗り場に「エマウォール」を寄贈する運びとなりました。「TOWER SLIDER」は、通天閣3階の中間展望台から地下1階まで、スパイラル状に滑り降りる全長60mの滑り台です。新しいシンボルを作ることでより多くの観光客を誘致してこれからも大阪を盛り上げていきたい、という通天閣観光株式会社さまの思いに賛同し寄贈が決定。高さ291cm、幅790cmの大きなカーブの中央に「TOWER SLIDER」のロゴをあしらい、ホーローの高級感ある意匠性で、印象的な空間を演出しました。「エマウォール」前での記念撮影など、皆さまの思い出作りにも貢献します。

タカラスタンダードはこれからも独自のホーロー素材と技術を使った商品をお届けし皆さまの暮らしを豊かにしてまいります。

<タカラスタンダードとは>

1912年創業。『ずっと「愛せる」というしあわせ。』をブランドコンセプトに、独自の「高品位ホーロー」技術を活かしたシステムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器を製造販売。より高度化、多様化、複合化するお客さまのニーズにお応えするホーロー技術のリーディングカンパニーとして、また住宅設備機器のトップメーカーとして、次世代を担う新たなホーローの可能性を追求し、快適な暮らしの創造を目指しています。

[設立：1912年5月30日（創業109年） / 売上高（連結）1,921億円（2020年度） / 従業員数（連結）6,278名]